

りんごが実る
そんな当たり前のことを未来に残していく

信州で西洋りんごの栽培が始まって、今年で150年。
以来、県内の至る所に栽培地が広がり、
今では日本有数の「りんご王国」になりました。

ところが近年、地球温暖化によって
りんご栽培の現場にさまざまな影響が出ています。
気温が上がると、猛暑日が続くことで色づきが悪くなる。
強すぎる日差しで日焼けしてしまふ。

春先の霜で花がダメージを受け、
突然のひょうで果実が傷ついたこともあります。
数年前には、台風による水害で

県内のりんご畑も大きな被害を受けました。
美しい色の瑞々しく、おいしいりんご。

150年後も、さらにその先にもつないでいくには、
二酸化炭素の排出を減らし、
最適な栽培環境を守っていく必要があります。

そのために自分ができることを始めていきませんか。
まずは、皆さんが考える

「脱炭素につながる行動(ワンアクション)」を教えてください。
特設サイトで投稿すると、りんごの木に実っていきます。

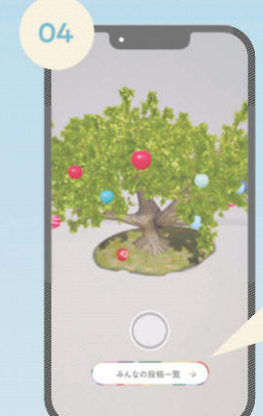
皆さんのワンアクションが、地球温暖化を食い止め、
りんごを守る確かな力になっていきます。



いま私たちにできる行動で
GO! ZERO CARBON!

【その1】脱炭素につながる行動(ワンアクション)を投稿する

投稿方法



特設サイトでみんなの投稿を見てみよう!
投稿されたワンアクションは、カラフルなりんごとなって木を彩っています。
*特設サイトからも投稿できます。

1投稿につき、50円を信濃毎日新聞社が脱炭素社会実現への活動資金として寄付いたします。

【その2】環境に配慮して栽培した信州産りんごを購入する

炭素貯留効果が高い炭を土壌に撒き、
温室効果ガスの排出をおさえた圃場で栽培した信州産りんごを、
信毎メディアガーデンと銀座NAGANOで販売します。
オリジナルの紙製ネットでお渡しします。



INFORMATION

12.15 10:00-16:00
信毎メディアガーデン
〒390-0811
長野県松本市中央2丁目20-2

12.18 12.19 10:00-16:00
銀座NAGANO
〒104-0061
東京都中央区銀座5丁目6-5
NOCOビル1・2・5F



Grid of logos for various sponsors including Subaru, DIC JPN, and others.

私たちは、信州りんごを未来につなげるため、脱炭素社会の推進を応援しています。GO! ZERO CARBON!

事業者と消費者が共に脱炭素
グリーンBiz アプリ

ディーアイシージャパン株式会社
0120-026-242 / www.dicjapan.co.jp

Subaru advertisement for the Crosstrek 2024.12 Debut, featuring a car image and dealership list.